

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和5年3月10日

事業所名 児童デイサービスあおぞら

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		活動内容により公民館なども利用している。	
	2	職員の配置数は適切である	○		活動内容により補助スタッフを入れることもある。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		建設時にバリアフリー化や手すりの配慮をし玄関先も段差の解消をした。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		毎週のミーティングに全員参加して振り返り等実施している。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		保護者からの評価表や面談時に意向を把握して改善の参考にしている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		結果をホームページで公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	外部評価を行うには至っていない。	
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		講師を招いての研修やインターネット研修など積極的に確保している。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		保護者面接や相談事業所からの情報、通所施設見学などを通して作成。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○	標準化されたアセスメントツールは使用していない。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		担当者からの提案を基にミーティングで最終決定している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		ミーティングの立案の際に創意工夫した案を出し合っている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		長期休暇時は平日と異なるプログラムとし個別プリントも設定している。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		計画作成の際に個別が集団かで活動場所も分けるなどの工夫をしている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している		○	掲示、伝達ノートなどで全員に周知する工夫はしているが不十分である。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		終了後の話し合い、振り返りや個別記録の記載などで共有している。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		個別記録を複数で書き全員が確認するようにしている。	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		半年ごとに見直しを行い保護者面談も実施し判断している。		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	○		ガイドラインの基本活動は全て網羅するよう支援を行っている。		
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		サビ管や現場リーダーが責任を持って対応している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		これまでの情報共有に加え緊急連絡メール配信にも登録した。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○		現在、対象児はいないが受け入れる際には体制整備をする。	

関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		見学はじめ情報共有するようにしている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		必要に応じて情報提供し対応している。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		事業所訪問は今年度なかったがリモート研修や電話での助言を受けた。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○	ニュースポーツ体験会の機会はあったが交流するには至っていない。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		研修会や会議に参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		毎日の連絡帳や送迎の際、モニタリング面談などで尽力している。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○	家族交流会の際にペアトレに精通した講師から保護者研修を実施。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		モニタリング面談の際や文書などで説明している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		送迎時や面談、必要に応じて電話で対応するなどしている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	保護者同士の関わりは家族交流会の機会ぐらいである。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している		○	苦情解決の窓口など整備している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		○	毎月の会報はじめ行事等には都度告知の便りを出している。
	35	個人情報に十分注意している		○	法人としても配慮している。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている		○	多様なコミュニケーションツールを活用している。
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	コロナ禍で夏祭りはじめ行事の自粛で招待等できていない。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		保護者へ策定していることは伝えている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		毎月、避難訓練を実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		虐待防止マニュアルも策定し研修も実施している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		○	必要に応じて個別支援計画にも記載している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○	保護者からの申し出に基づき対応している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		○	毎回ミーティングで話題にし共通認識するようにしている。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和5年3月10日

事業所名 児童デイサービスあおぞら 保護者等数 13人 回収数 12枚 割合 92%

	チェック項目	評価				ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	7	5			状況により活動場所を分けたり、外遊びや公民館活動を取り入れるなど工夫している。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	11	1			活動によっては補助スタッフをいれたり、研修や事前準備で適切に対応できるようにしている。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	11	1			建設時に配慮し玄関先の段差も砂利敷設で対応している。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	12				半年ごとの計画の見直しや保護者とのモニタリング面談を実施している。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	12				毎週のミーティングや日々の準備、振り返りを欠かさずにプログラムを工夫している。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	3	2	4	ニュースポーツ体験会などの機会をつくっているが、交流とまではしていない。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	11	1			半年ごとの計画の見直しの際の面談やお便りなどで説明している。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができてきているか	11	1			連絡帳や月刊あおぞら、送迎時、また日々のメールなどでの連絡で理解を深めている。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	11			1	面談や電話での対応などで支援している。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	9	2		1	保護者同士の交流は「家族交流会」ぐらいで組織的に連携の支援はなされていない。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	11	1			苦情解決の窓口の設置など法人としての体制に基づき適切に対応する。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	11		1		送迎時の声掛け、電話、メール、お便りなど様々工夫している。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	10	2			毎月の「月刊あおぞら」、ホームページ、行事の案内のお便りなどの情報提供や自己評価結果の報告は配布やホームページ掲載などで発信している。
14 個人情報に十分注意しているか	12				法人としても個人情報保護に配慮している。	
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	11	1			各種マニュアルのが策定されていることはお伝えしている。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	12				避難訓練は毎月実施し、振り返りを十分することで、個別の危険回避の課題を把握している。
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	11	1			常に全員が楽しみに通所できるよう工夫していく。
	18 事業所の支援に満足しているか	11	1			常に全員に満足してもらえるよう努力していく。

\*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

\*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。